

2004 年度の活動

回数 (通算)	月日	報告者	報告題目
1 (72)	4/17	遠山 純弘 (小樽商科大学助教授)	法制史研究と民法解釈—何故実定法解釈に法制史研究が必要なのか?—
2 (73)	5/26	新村 とわ (小樽商科大学助教授)	『国家と社会の二元論』—ドイツ公法理論の再検討
3 (74)	6/30	林 誠司 (小樽商科大学助教授)	監督者責任の再構成
4 (75)	7/21	今本 啓介 (小樽商科大学助教授)	地方税の税源配分に関する一考察
5 (76)	10/27	Marc Dernauer マーク・デルナウア (ドイツ・マックスプランク外国私法国際私法研究所助手)	規制緩和時代の日本における消費者契約の法
6 (77)	12/15	舟橋正人 (小樽商科大学院生)	不法滞在外国人への生活保護法適用の可否 (最三小判平成13年9月25日判時1768号47頁)
7 (78)	1/26	金 知煥 김·지환 (ソウルサイバー 大学専任講師)	韓国商法の最近の動向について
8 (79)	2/26	清水信孝 (小樽商科大学院生)	租税回避行為否認の研究
		山崎忠顕 (小樽商科大学院生)	社会保障立法の成立過程と社会福祉施設サービスの変遷

■ 幹事：遠山純弘／多木誠一郎

■ 肩書は当時（敬称略）